

5 資源・エネルギーが循環する港

将来像

エネルギー関連産業の施設や技術を活用し、環境負荷の小さい新エネルギーによるエネルギー供給基地が立地するとともに、港湾全体として、ゴミゼロ化をはじめとする環境負荷を最小化することにより、資源・エネルギーが循環する港

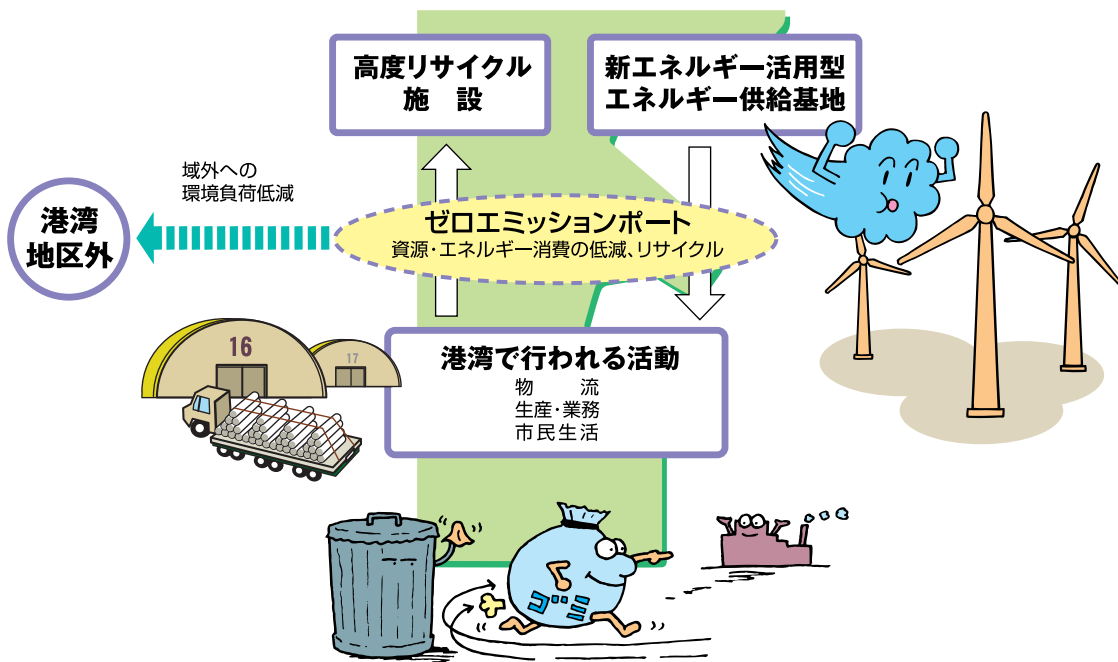
実現イメージ

◎新エネルギー活用型エネルギー供給基地への転換

石油化学や電力などから太陽光・風力・潮力などを利用したクリーンエネルギーへの転換が進み、新エネルギーの供給基地となっている。

◎港湾全体のゼロ・エミッション化の推進

リデュース・リユース・リサイクルの取り組みや、高度リサイクル施設、新エネルギーを活用した事業活動など、資源・エネルギーが港湾地区内で循環し、港湾地区外への環境負荷を最小化した「ゼロ・エミッション・ポート」への取り組みが推進されている。



実現のポイント

- ◎事業採算性と環境負荷軽減を両立する環境関連技術の開発促進
- ◎リユース・リサイクル品の流通システムの構築
- ◎生活環境への配慮と市民の理解・協力

■新エネルギー…石炭・石油などの化石燃料や核エネルギーに対し、新しいエネルギー源や供給形態の総称。新エネルギーには、太陽光発電、風力発電などの自然エネルギー、廃棄物発電などのリサイクル型エネルギーのほか、コジェネレーション、燃料電池、メタノール・石炭液化などの新しい利用形態のエネルギーも含まれる。

■ゼロ・エミッション…工場などから出る廃棄物や廃熱（エミッション）を他の活動の原材料やエネルギーとして利用することで、循環型産業システムを構築し、廃棄物・廃熱ゼロを目指す試み。